

授 業 科 目	リハビリテーション医学		
教 育 内 容	専門基礎分野	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	
担 当 教 員	芳賀信彦、阿久根徹 他		
学 年	2	単 位 数	3
開 講 時 期	後期	時 間 数	講義 45 時間

■ 授 業 概 要			
<p>リハビリテーション医療は複数の医療専門職種によるチームアプローチが基本であり、義肢装具士がその一員であることは言うまでもない。ここではリハビリテーションの基礎を学ぶ。</p> <p>各論として、主に運動機能障害における能力障害の回復に主眼をおき、各疾患の病態、診断、治療、予後の基礎知識をふまえた上でリハビリテーション治療手技を学ぶ。</p>			
■ 到 達 目 標			
<p>1) リハビリテーションの対象である疾患の病態を理解し、説明できる</p> <p>2) リハビリテーションにおける各種評価について説明できる</p> <p>3) 代表的な疾患のリハビリテーションについて説明できる</p>			
■ 授 業 内 容			
第 1 回	概論		
第 2,3 回	障害の評価と治療		
第 4,5 回	切断のリハビリテーション		
第 6,7 回	脊髄損傷のリハビリテーション		
第 8,9 回	脳血管障害 1		
第 10,11 回	脳血管障害 2		
第 12,13 回	神経筋疾患のリハビリテーション		
第 14,15 回	骨関節疾患のリハビリテーション (関節リウマチ含む)		
第 16,17 回	高齢者のリハビリテーション		
第 18,19 回	小児のリハビリテーション		
第 20,21 回	外傷性脳損傷のリハビリテーション		
第 22,23 回	内部障害 (呼吸・循環器) のリハビリテーション		
■ 評 価 方 法			
<p>筆記試験を実施して評価する。</p> <p>筆記試験 100%</p>			
■ 教 科 書			
<p>「学生のためのリハビリテーション医学概論」 医歯薬出版</p> <p>「リハビリテーション医学・医療コアテキスト」 医学書院</p>			
■ 留意事項・その他			
<p><担当教員の実務経験></p> <p>阿久根徹：本リハビリテーションセンター病院の医師として勤務。</p>			